

ゆうゆうの日常

～6月だより～

令和7年7月2日

〇クッキング(パンケーキとマシュマロおこし)



子ども企画として今年^{ことし}は、子どもカフェ^{かいさいよてい}を開催^{かいさいよてい}予定^{よてい}です。
 それに向けて^{むけて}、保護者^{ほごしゃ}の皆様^{みなさま}のご協力^{ごきょうりょく}を得^{えて}て予行練習^{よこうれんしゅう}を夏休み^{なつやすみ}にします。その準備^{じゅんび}として、今回^{こんかい}はデザート^{しさく}の試作^{しさく}をしました。試作^{しさく}をする中^{なか}でメニュー^{メニュー}がこれでは寂しい^{さびしい}のでは?や生地^{きじ}が固い^{かたい}など様々^{さまざま}な意見^{いけん}が出ています。職員^{しよくいん}が指示^{しじ}をすべて^{すべて}してしまうのではなく、子ども^{じぶん}たちが自分^{じぶん}たちで考え^{かんがえ}行動^{こうどう}するための実践^{じっせん}をしています。指示^{しじ}待ち^{まち}のスタンス^{スタンス}が多い^{おおい}子ども^{むずかしい}たちにとってはとても難しい^{むずかしい}ことなのです。まず、自分^{じぶん}で考える^{かんがえる}という癖^{くせ}がついているか、集団^{しゅうだん}行動^{こうどう}がとれるか、国語^{こくご}力^{りき}など実^{じつ}に様々^{さまざま}な課題^{かだい}があります。その課題^{かだい}の中で、今回^{こんかい}は特にレシピ^{とく}の意味^{いみ}を考え^{かんがえ}、読み解^{よみとく}く国語^{こくご}力^{りき}についてふれていきます。



レシピ^{レシピ}は、子ども^{こくご}たちにとっては国語^{きょうかしょ}の教科書^{そのもの}そのものです。
 ひらがな、カタカナ、漢字^{かんじ}の文字^{もじ}の習得^{しゅうとく}、文章^{ぶんしょう}の読み取り^{よみとり}が重要^{じゅうよう}です。



- ① クッキング^{はじめる}を始める^{はじめる}前に^{よみこみ}レシピ^{しよくいん}を読み込み^{しつもん}、職員^{じゅんび}から質問^{しつもん}され準備^{じゅんび}をします。
- ② レシピ^{どおり}通りに^{どうぐ}道具^{ざいりょう}や材料^{じゅんび}を準備^{じっさい}し、実際^{こうどう}に行動^{こうどう}して行くので想像^{そうぞう}がしやすく、心^{こころ}を育て^{そだて}る大切な^{たいせつ}療育^{りょういく}となります。

子ども^{なんど}たちは、レシピ^{よみこみ}を何度^{あいまい}読み込^{ひょうげん}んでも曖昧^{ほんろう}な表現^{あいまい}に翻弄^{ほんろう}されます。たとえば、手早く^{てばやく}混ぜるとい^{まぜ}う言葉^{ことば}は、どんな^{はやさ}速さ^{まぜれば}でどう混^{こま}ぜればいい^{こま}のかわからず困^{こま}ってしま^{こま}います。10秒^{びょう}時計^{けい}回り^{まわり}で混^{まぜ}ぜるなどポイント^{つたえる}を伝える^{ひつよう}必要^{ひつよう}があります。これを、くりかえ^{くりかえ}すこと^{そうぞう}で想像^{さき}し先^{かんがえる}を考^{ちから}える力^{そだちます}が育^{そだちます}ちます。そこま^そでいくには、レシ^そピにか^そかれて^そいる言葉^{ことば}を丁寧^{ていねい}に読^よむ・理^り解^{かい}することからはじめないとい^いけません。ま^まだ、今^{こん}回の^{かい}試^し作^{さく}ではレシ^しピの^し読^よみ込^こみが甘^{あまく}く、失^{しつぱい}敗^{ぱい}しがち^{はんせい}でした。反^{はん}省^{せい}点^{てん}もふま^{ふま}え、どうす^{よい}れば良^{はなし}いか話^{あい}し合^{こんど}い、今^し度^{さく}の試^そ作^{なえ}に備^{そな}えた1日^{いちにち}とな^なりました。





ゆうゆうの療育～6月だより～



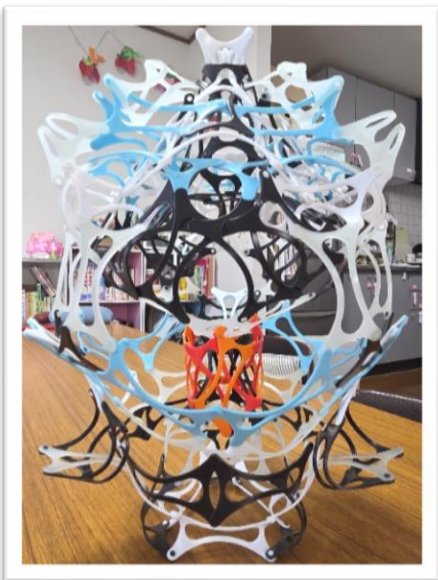
○ゆうゆうの自由あそび

ゆうゆうでは自由あそびの時間があります。SST や認知トレーニングなどのプログラムを終えた後、自由あそびの時間を取ることが多いです。これには、明確な理由があり、しなければならないことを先にする癖をつける。リラックスする練習。自然なコミュニケーションの練習。自分のしたい事・好きなことを考え行動するなど子どもたち一人ひとりによって、自由あそびの目的は異なります。

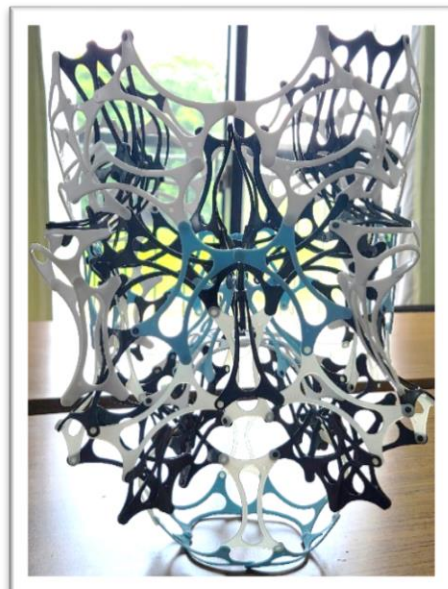
ゆうゆうの自由あそびでは、よくたわいもない話をします。でも、その話が子ども同士・子どもたちと職員との信頼関係を築く大切な時間でもあります。好きな音楽やご飯、学校の悩みなど様々です。そんな時間を子どもの年齢が大きくなるほど大切にするようにしています。思春期・反抗期になると大人に話さず、心のうちに閉じ込めてしまいがちです。だからこそ、たわいもない話をする自由な時間が大切です。

自分のしたい事・好きな事を考え行動することは、意思選択・決定だけでなく、リラックスする方法を身につける良い練習にもなります。また、自分の好きな何かなど自分を知る機会にもなります。

下の写真は、ある子が自由あそびにブロックで創作した作品です。



ランタン



ランタン

